

OPENING CONCERT SERIES

# 坂下忠弘 & 松下倫士

## ジョイントリサイタル

### 《program》

F.シューベルト / セレナーデ  
M.モノー / 愛の讃歌  
C.ドビュッシー / 月の光(ピアノソロ)  
中田喜直 / ああプランタン無理もない  
中田喜直 / 夏の思い出  
中田喜直 / 淡雪ふる日に  
他

～歌とピアノの調べ～

2026 6/27 (土)

開演14:00(開場13:30)

NoteTrail音楽サロン

チケット：

一般 4,000円 学生 2,000円 (全席自由)

チケットに関するお問い合わせ：

[contact@notetrail.jp](mailto:contact@notetrail.jp)

Bar. 坂下 忠弘

Pf. 松下 倫士



NOTE TRAIL  
CLASSIC MUSIC SALON

横浜市に佇む、8m近い高天井と  
極上の音響を備えた、優雅なサロンホール

神奈川県横浜市南区東蒔田町2-5  
HP：[notetrail.jp](http://notetrail.jp) (4月中公開)  
ホールに関するお問い合わせ：  
[contact@notetrail.jp](mailto:contact@notetrail.jp)

後援：スタインウェイ・ジャパン株式会社



## 坂下 忠弘 バリトン

桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業。同大学研究科3年修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。第9回中田喜直記念コンクール大賞（第一位）及び中田喜直賞受賞他多数。フランス、オランダ等に留学。小澤征爾オペラ『蝶々夫人』ヤクシデ役、新日本フィルハーモニー交響楽団と共演し『カルメン』闘牛士エスカミーリオを演じ絶賛を博す。モーツァルト『ドン・ジョバンニ』、モンテヴェルディ『オルフェオ』（佐川吉男音楽賞受賞作品）、ヘンデル『ジュリオチェーザレ』（三菱UFJ音楽賞受賞作品）など様々なオペラでタイトル・ロールを演じ各メディアで話題となった。クラシックのみならずジャンルを超えた活動は多岐にわたり、コシノジュンコ氏プロデュースによる『ザ・パレス・ガラ ORCHESTRA DINNER』—ファッションとクラシック、そして美食の饗宴—において、シンガー兼モデル出演。テレビなどは『寛仁親王牌・全国童謡歌唱コンクール・全国グランプリ大会』にゲスト出演（朝日）。『名曲アルバム』にて「シュルブルの雨傘」（NHK）、『題名のない音楽会』（朝日）、『日本名曲アルバム』などに出演。2020年『ディズニー・オン・クラシック〜夢とまほうの贈りもの』ソリスト・シンガーとして全国20カ所以上のツアーに参加した。YouTubeライブ配信、ラジオや雑誌などの各メディアでも活動中。二期会会員。現在北海道旭川市観光大使。

## 松下 倫士 ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、2009年同大学院修士課程作曲専攻修了。卒業時に藝大同声会賞受賞。2014年東京音楽大学大学院修士課程伴奏科修了。これまでに日本交響楽振興財団第29回作曲賞、第5回北本ピアノコンクール大学院生・一般部門第1位、併せて全部門より最優秀賞受賞。東京フィルハーモニー交響楽団とラヴェルのピアノ協奏曲を共演。第22回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第2位、2012年奏楽堂日本歌曲コンクール第19回作曲部門（一般部門）入選、第51回JBA下谷賞など多数受賞。また2023年よんでん芸術文化奨励賞、2025年第17回とくしま芸術文化奨励賞受賞。作曲家として、吹奏楽やアンサンブル作品が全国各地で演奏され注目を集めているほか、近年は声楽や合唱曲も作曲しており、カワイ出版より歌曲集や合唱組曲などが出版されている。ピアニストとしては、2012年に日本コロムビアより「僕が僕であるために〜尾崎豊 オンピアノ」（編曲・演奏）をリリース。2014年には「夢見草〜松下倫士ピアノソロアルバム〜」をリリース。ソロだけではなく数多くの演奏家と共演も多く、高い信頼と評価を得ている。またCDも多数リリースされている。洗足学園音楽大学、東京音楽大学非常勤講師。



## アクセス方法

### 電車でお越しの方

横浜市営地下鉄  
吉野町駅 徒歩6分  
京急本線  
南太田駅 徒歩12分

### お車でお越しの方

首都高速神奈川3号狩場線  
花之木ICから0.8km  
\*駐車場のご用意はございません、  
お車でお越しの際は  
近隣の有料駐車場をご利用下さい。



## Notetrailの誕生について

ステージと客席のあいだに流れる、  
サロンコンサートならではの親密な空気。  
そして、大きなホールでは味わうことのできない、  
すぐそばで響く澄んだリアルな音色。  
それらを皆様と分かち合いたいという思いこそが、  
NoteTrail創設の原点です。  
「NoteTrail」という名称には、  
二つの意味を込めました。  
「Note」は音符、あるいは音。  
音符の「Trail」には、  
音楽が時の流れとともに積み重ねてきた足跡を。  
音の「Trail」には、  
音が描く軌跡、すなわち美しい余韻を重ねています。  
この場所に集う皆様が音楽家とともに、  
時代や国境を越え、  
人類共通の言語である音楽を通して、  
魂を揺さぶる心の旅へと漕ぎ出す、  
そのようなかけがえのないひとときを、  
心ゆくまでお楽しみいただけましたら幸いです。